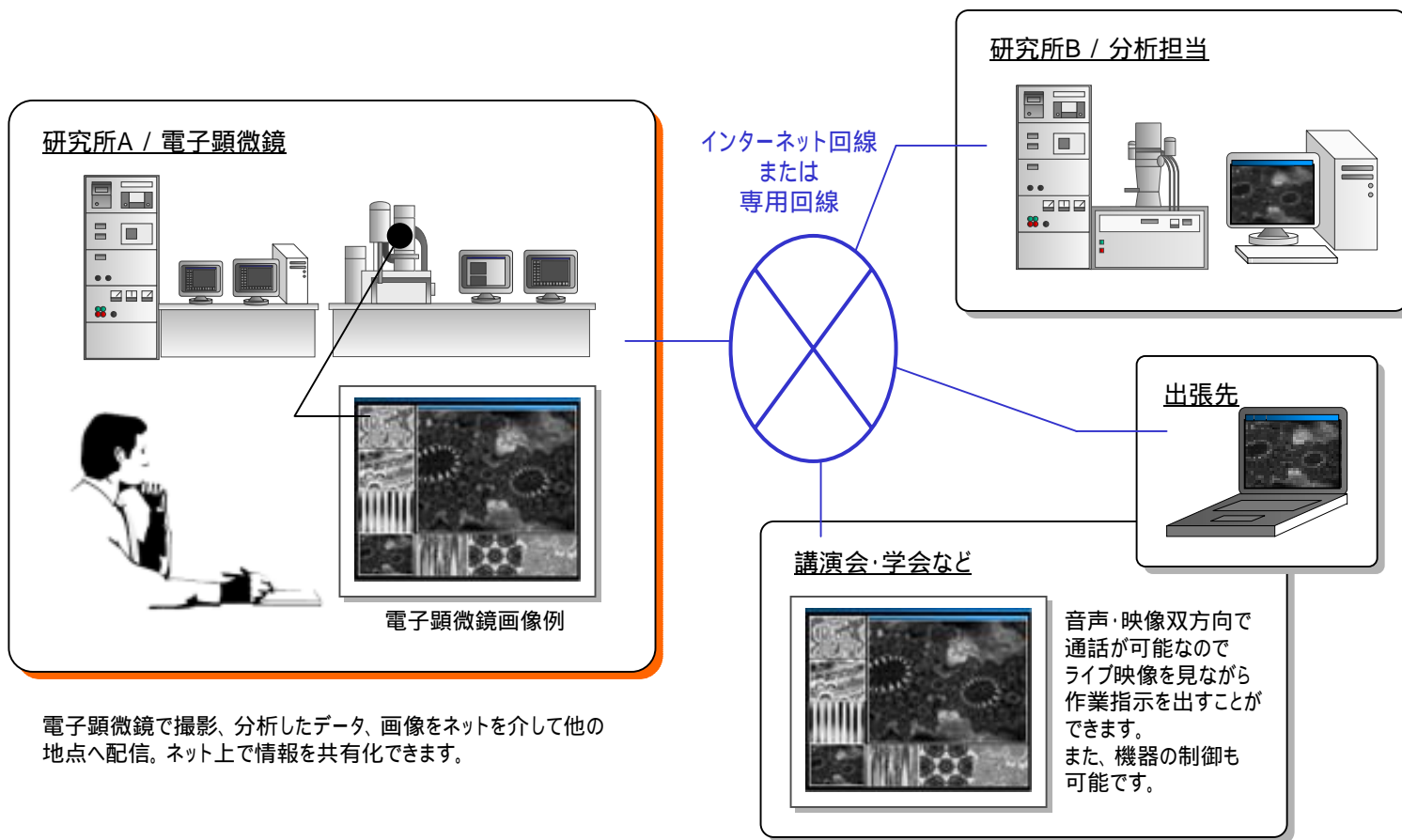


# 電子顕微鏡映像転送システム

電子顕微鏡で撮影した映像をネット上で共有、遠隔操作も可能です。

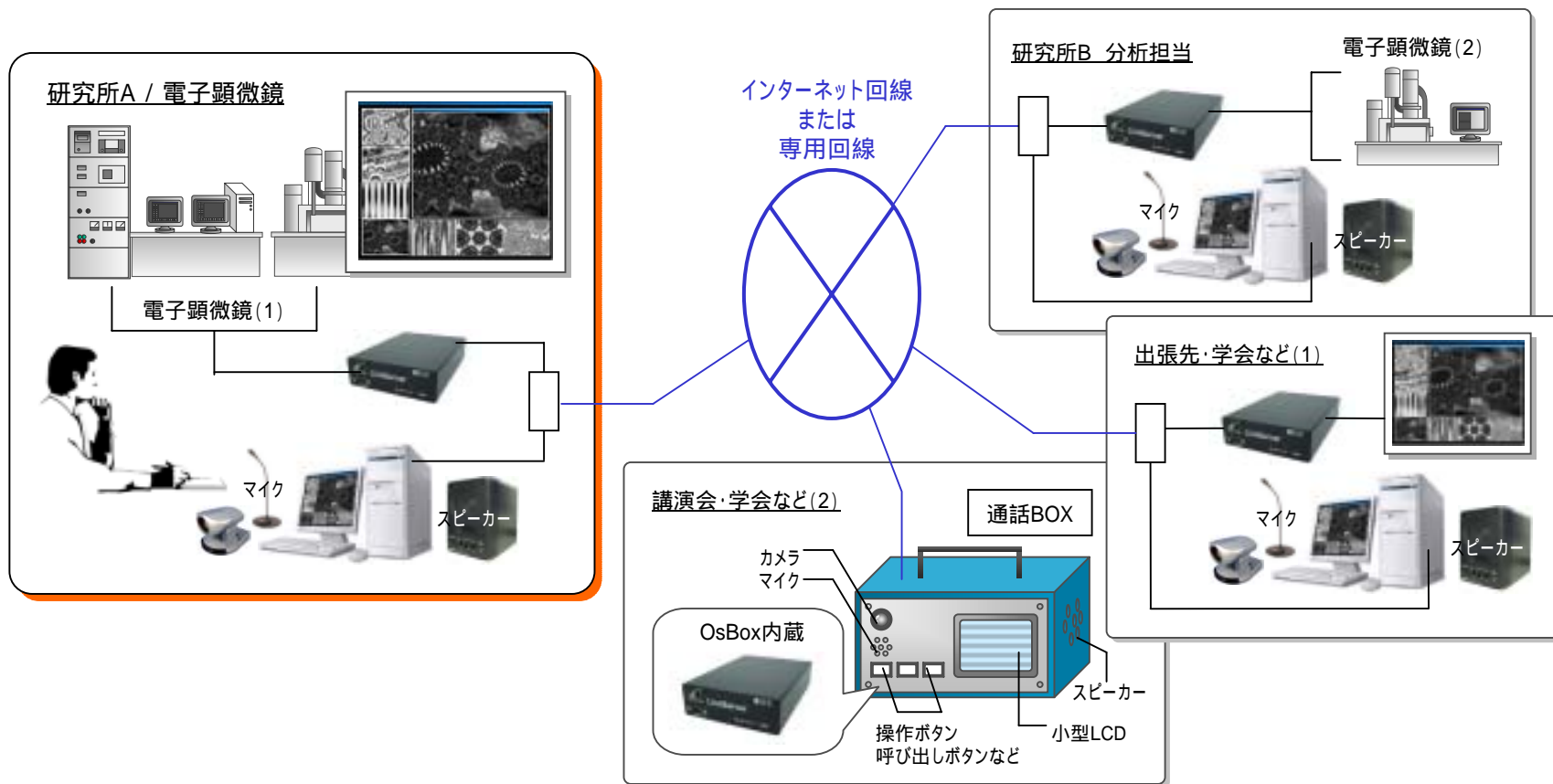


電子顕微鏡で撮影、分析したデータ、画像をネットを介して他の地点へ配信。ネット上で情報を共有化できます。

音声・映像双方向で通話が可能なのでライブ映像を見ながら作業指示を出すことができます。また、機器の制御も可能です。

[ご注意]  
ここに掲載するOSボックスの応用事例は、既に実施中のもの、提案をしたが実現に至らなかったものなどを含めてユーザー各位がOSボックスの応用を検討するヒントになればと掲載するものです。動作を保証するものではなく、またこれにより実施権を与えるものではありません。

- \* 電子顕微鏡で撮影、分析したデータを他の地点に転送可能。データをネット上で共有することができます。
- \* 独自の圧縮方式：KAMは、MPEG等一般的な画像圧縮技術に比べてデータサイズが大幅に小さく、ファイル転送時の回線負担も軽減できます。また映像の再生には専用の表示ソフトが必要ですがセキュリティ面の強化にも役立ちます。
- \* 2台の「OsBox」で通信することで映像・音声共に双方向で通話が可能となります。遠方の関連施設とのTV会議や、交流イベント、教材提供等としてご活用いただけます。出張経費や移動・準備時間のコスト削減なども見込めます。
- \* 遠隔地のパソコン画面から各装置の操作・制御（機器電源スイッチのON/OFFなど）も可能です。



これは基本的なシステムであり、ニーズ合わせたカスタマイズが可能です。